

三沢商業高校 S A H • H a u l - A の取組について

(エスエーエイチ) • (ホールエー)

R 6 年度

1. S A H 指定の経緯

平成 20 年度より、簿記検定の受験を日商ベースとすることとした。導入当初は、年度により各学年での取得率にも 6 割から 8 割と大幅に波があり、合格率が安定しないことが多かった。平成 27 年度より、正式に日本商業教育振興会からの指定を受け、S A H 事業 “花咲け未来プロジェクト” として取組むこととなった。令和 6 年度からは”一簿一笑（いちばいいちえ）“をテーマに掲げ 4 クール目に突入している。

2. S A H 事業の目的

生徒が夢を実現するハイレベルな教育を実践し、商業高校出身者として地域や本県、ひいては国民経済発展のために第一線で活躍する職業会計人や広く簿記の能力を生かして社会貢献に資する人材を育成する。

商業高校で 3 年間簿記を学び、興味を持った生徒が大学へ進学し税理士、公認会計士になる夢を叶えることで生涯の仕事をつかむことを目的としたプロジェクトである。

3. これまでの成果

平成 25 年度生から取得率が年々増加し、Haul-A プロジェクトに参加している生徒（簿記部）から、平成 27 年 11 月において、本校創立以来初の日商簿記 1 級の合格者（右）を出すことができた。この吉報は、本校はもとより地域の方々からも喜んでいただくことができた。また、報道機関からもたくさん取り上げていただいた。



翌年平成 28 年 11 月検定においては、1 級に 2 名の合格者（左）を出すことができた。うち 1 名男子は、平成 28 年 7 月に行われていた全経上級試験にも合格することができ、高崎商科大学に進学後、平成 30 年の大学 2 年生で公認会計士に合格を果たしている。女子は 2 年生で 1 級に合格し、現在も公認会計士合格に向けて勉学に励んでいる。



さらに翌年平成 29 年 6 月検定において 1 級に 1 名の合格者（右）を出すことができた。29 年度卒業生は高崎商科大学に 3 名進学しうち 2 名が令和 3 年の大学 4 年生で公認会計士合格を果たしている。



そして令和 4 年 6 月検定において 6 年ぶりに 1 級合格者（左）を出すことができた。今年、高崎商科大学に進学し公認会計士を目指している。2 級・3 級の取得率が上昇し、4 年連続日商簿記取得率 100% 達成したこと、日商 1 級合格者が出了こと、さらには、卒業生から 3 名の公認会計士が誕生したことで多くの生徒達の自信にもつながっている。

これまで簿記部から 1 級合格者が誕生していたが、昨年度は珠算部からの合格者を輩出できた。本生徒は朝日大学に進学し公認会計士を目指す。今後も部活動と学業の両立を継続していきたい。